

# Interview

## 学部長室へようこそ

2003年に国内初のキャリア研究の専門学部として設立され、以来キャリアデザインの意義やあり方を社会に向けて発信してきた本学部。このページでは現役学部生4名が、金山学部長にインタビューをしています。



キャリアデザイン学部長  
金山 喜昭

### Q キャリアデザイン学部の特徴

学部生 他の学部にはない、キャリアデザイン学部の特徴はなんですか。

学部長 現実の社会は、複雑な出来事や問題から成り立っています。これまでのように、一つの専門領域から、社会と人の生き方についての課題を解き明かすことは、しばしば困難になっています。そのために、1年次からキャリアデザインに関する基礎科目と、「発達・教育キャリア」、「ビジネスキャリア」、「ライフキャリア」の3領域に関連する入門科目を総合的に受講できるカリキュラムになっています。皆さんは自分の興味や関心に合わせてカリキュラムをつくり、複合領域の基礎を横断的に学びます。そのうえで、研究テーマを設けて、自らの「専門」を構築することができるのです。また、教員と学生との親密なコミュニケーションも重視しています。1年次からの少人数の演習(ゼミ)や、民間企業、地方自治体、学校などでのインターンシップや体験型学習により、実社会の中で知識やスキルを学ぶこともできます。

学部生 キャリアデザイン学部で学んだことは、社会に出てからどのような場面で活かされると思いますか。

学部長 いま日本社会は、大きな転換点にさしかかっています。昔のように、「よい大学」「よい会社」が、イコール幸せな人生を保障する時代ではありません。人びとの生き方や働き方の「定番」が崩れて、生き方—暮らし方、育ち方、学び方、働き方などが多様化しています。キャリアデザイン学部では、自分の生き方(キャリア)を主体的にデザイン(設計)するとともに、他者のキャリアを支援できる専門的な知識やスキルを学びます。本学部で身につけた能力は、自らの生き方を設計することや再設計することに役立つばかりでなく、企業や地域社会などで他者を支援する活動など、あらゆる場面で活かすことができるでしょう。

### Q 受験生に伝えたいこと

学部生 キャリアデザイン学部では将来どのような道に進めるのですか？

学部長 文系学部は、どの学部でも職業選択に大きな差があるわけではありません。企業(サービス、卸・小売、金融・保険、運輸、文化情報、マスコミなど)、公務員、教員、起業家、キャリアカウンセラー、社会教育・文化施設専門職など様々です。今後は、地域振興の担い手になるような人材も育てたいと思います。本学部の就職希望者決定率は99.6%(2012年度)と高く、社会のさまざまな分野で活躍しています。

学部生 キャリアデザイン学部を志望する受験生に、メッセージをお願いします。

学部長 自分は何者なのか、何をしたいのか、将来の自分を描けずに迷っている人たちは多いと思います。あるいは、既に将来の目標を持っている人もいます。どのような人たちでも歓迎します。本学部の教員やスタッフは、学生のキャリア形成を支えるプロとしての自覚を持って、みなさんの学びと成長を支援することを約束します。



李瑛夏 / 富田浩章 / 佐藤美緒 / 佐野真一

# キャリアデザイン学部

## 生きるを考え はたらくを学ぶ

少人数制でコミュニケーション重視の授業  
多彩なゼミと体験型授業で実践力を強化

学部フェイスブック

<https://www.facebook.com/hoseicareerdesign>

学部ホームページ

<http://www.hosei.ac.jp/careerdesign/index.html>

その先の自分を創る。

FACULTY OF LIFELONG LEARNING AND CAREER STUDIES



FEATURE

キャリアデザイン学部の特徴

学際的な学び

P.4

- ▶ 1つの専門分野だけでは役に立たなくなっている現代社会に対応します
- ▶ 1つの領域を軸にしつつ多彩に学べます
- ▶ 入学後にまず基礎を学んでから2年次以降専門領域を選べます

充実したゼミ

P.10

- ▶ 29の多彩なゼミがあります
- ▶ 少人数制で丁寧な指導、コミュニケーション能力が身につきます
- ▶ 学外とのつながりが深く社会性が育ちます

充実した学生支援・キャリア支援

P.14

- ▶ 教員や仲間同士、アドバイザーの充実
- ▶ 学生自身が支援することでわかる支援の極意
- ▶ 充実したキャリアアップ奨励金（資格取得費用の補助）

体験型を4年間味わいつくす

P.12

- ▶ 企業、NPO、高校へのインターンシップを行なっています
- ▶ 丁寧な事前・事後指導で単なる「体験」以上の体験になります
- ▶ 外に出るのが苦手なひとにもきめこまやかなケアで安心のプログラムです。

CONCEPT

キャリアデザインって？

〈キャリアデザイン〉とは、学校での〈学び〉を〈働く〉ことと〈暮らす〉ことにつなげて生き方 (career) を設計 (design) すること  
 —あなたの学びは、人々と共に暮らし働くことに、ちゃんとつながっていますか？

キャリアデザインにおける学びとは？

学校教育論	現代社会の中で学校教育の役割を根本から問い直す
キャリアカウンセリング	他者の学び方や働き方をサポートする
キャリア教育論	学びを働きにつなげる学校教育のとりくみを再考する
起業精神 (アントレプレナーシップ)	自分のアイデアを生かし社会に貢献する
ワークライフバランス	生活と仕事のバランスをとりながら豊かに暮らす
まちづくり	時代と共に変化するコミュニティのまちづくりに参加する
家族論	多様化する家族の形をとらえ直し固定概念をうちこわす

●グローバル化した成熟社会のなかで

自分の人生をみずから選択する主体的な生き方を身につけます  
 他者の生き方を支援するための専門的な力を身につけます

VISION

キャリアデザイン学部で育てたい人材

P.5

発達・教育キャリア領域

自ら生涯学びつづけながら  
 他者を理解し学びを支援する人材

生涯学習社会では支援者もまた学びつづける姿勢が求められます  
 共に成長し合う学びのリーダーを育てます

ビジネスキャリア領域

人間に対する洞察力を備え  
 経済社会の発展・変革に貢献できる人材

社会で活躍するには経営の専門知識と同様に幅広い教養が必要です  
 知識と行動で社会を変えていくリーダーを育てます

ライフキャリア領域

身近なコミュニティを理解し  
 地域の発展を支援することができる人材

家族や地域社会など、生活の場におけるさまざまな課題の解決に  
 積極的に取り組むことができるリーダーを育てます

Social Change

なぜいまキャリアデザインが必要なの？

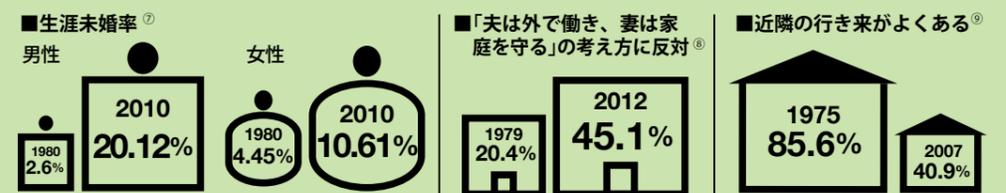
① 学び方が変わってきたから



② 働き方が変わってきたから



③ 暮らし方が変わってきたから



①文部科学省「子どもの学校外での学習活動に関する実態調査報告」(2008)より。2007年のデータには通信添削を含む。②5教科合計。文部科学省・学研発表 ③文部科学省 学校基本調査より ④日本経済団体連合会「新卒採用(2012年4月入社対象)に関するアンケート調査結果」より ⑤内閣府「男女共同参画白書(2012)より ⑥総務省統計局「労働力調査」(2012)より ⑦国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集より ⑧内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」より ⑨内閣府「国民生活満足度調査」より

キャリアデザイン学部では、人のキャリアが築かれる場として、3つの領域を設定しています。学びの場（発達・教育キャリア領域）、働く場（ビジネスキャリア領域）、そして生活の場（ライフキャリア領域）です。これら3つの領域におけるキャリア形成のあり方を専門的に学ぶことにより、自分自身のキャリアを主体的にデザインすると同時に、他者のキャリア形成を支援する力を身につけます。



キャリアデザインを体系的に理解し、実践していくために、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の3つの領域を複合的に学びます。それとともに、それぞれの領域において、身近な個人レベルの問題から、より幅広い社会レベルの課題まで、段階的に探究を進め、専門性を深めていきます。

**発達・教育キャリア領域**

自ら生涯学びつづけながら、他者を理解し学びを支援する人材を育てます

**STEP 1 「発達と学習」**

個人が子どもからおとなへと発達するなかで問題になる、発達障害や学力、カウンセリングなどについて理解を深めます。

**STEP 2 「学校教育と地域学習」**

学校とNPOや公民館など地域の諸機関はどのように連携しながら人の育ちを支援できるのか探求します。

**STEP 3 「教育と社会」**

社会の中に学校教育や地域教育を位置づけ相対化する力を獲得し、社会に有益な学びの在り方を探ります。

**ビジネスキャリア領域**

人間に対する洞察力を備え、経済社会の発展・変革に貢献できる人材を育てます

**STEP 1 「個人・人間」**

仕事に対するモチベーション、リーダーシップなど、働く場における人間理解や洞察力を身につけます。

**STEP 2 「集団・組織」**

社会における組織・集団の役割を理解し、そこで働く意味を学びます。組織を動かして社会で活躍できるリーダーの素養を育みます。

**STEP 3 「産業社会」**

ビジネスを取り巻くさまざまな現象に関する専門的な知識を獲得して、社会を変革していくための見識を広げます。

**ライフキャリア領域**

身近なコミュニティを理解し、地域の発展を支援することができる人材を育てます

**STEP 1 「自己・他者・関係」**

自己のアイデンティティについて掘り下げ、家族間や世代間など、コミュニティにおける人と人との関係性を探ります。

**STEP 2 「文化マネジメント」**

「文化」という要素を活用しながら、地域の活性化や創造的なまちづくり、新しい産業やブランドの創出について探究します。

**STEP 3 「多文化・グローバル社会」**

多様な文化をもつ人々が共生する社会を目指して、グローバルな観点から社会に関与していく姿勢を身につけます。

- ▶ キャリアデザイン学部では、1年次にキャリアデザインに関する基礎を学びます。そして2年次から、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の3つの領域にそって、専門性を深めていきます。
- ▶ 講義型の科目に加え、学外でのインターンシップやフィールドワークなど、社会のさまざまな現場における実習を行う体験型の科目を通して、実践的なキャリアデザインのスキルを身につけます。
- ▶ また並行して、教員免許や博物館学芸員などの資格の取得や、外国語のコミュニケーション・スキルのアップを図ることができます。



— 学生一人ひとりの学びを親身にサポート

「基礎ゼミ」で  
学びの土台作り

「基礎ゼミ」は、すべての新入生が履修する科目です。1クラス20名程度の少人数制で、学部の専任教員が担当します。文献や各種データの調べ方、論理的な思考方法、アカデミックなレポートの書き方、プレゼンテーションのスキルなど、大学における学びの基礎をしっかりと身につけます。



キャリアアドバイザー  
による継続的な支援

カウンセリングに関する専門のスキルをもつキャリアアドバイザーが、4年間を通して皆さんのサポートに当たります。1年次の後期には、学生一人ひとりと面談し、学習の進め方や資格取得に向けてのアドバイスをを行います。2年次以降に始まるインターンシップや実習においてもアドバイザーの支援が得られます。



ピアサポートを  
通して互いに学び合う

ピアサポートとは、ピア (仲間) 同士で支援し合うことです。キャリアデザイン学部では、学生たちが互いに学び合いながら成長していくことを目指しています。「オープン・キャンパス」では、在学生が受験生を支援し、新入生を対象に催される「履修相談会」では、先輩が後輩の学習計画作りをサポートします。



森 咲子 2年

2つのサークルを掛け持ちしています。両立は大変ですが、共通の趣味を持つ友達、先輩との交流はとても楽しいです。また、基礎ゼミでできた友達とは、授業が無い時も定期的に皆でご飯を食べたりしています。授業は、ライフキャリア入門 (田中研之輔先生) が、先生のお話も面白くとても刺激を受けます。大学で、ステキな先生、お互いを高め合える仲間ができ、サークル・勉強ともに、充実した毎日を送っています。



サークルの合宿で相模湖に 左から2番目

森さんの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土	日
1限	英語	勉強	中国語	ビジネス	勉強	サークル	
2限	勉強	英語		質的調査法	体育	バイト	
3限		ライフ			中国語		
4限	ライフ	社会学	バイト			(ないときはバイト)	
昼休み				バイト			
5限	遊び	サークル			数学・情報E		
6限					サークル		勉強

・勉強は空きコマで友達と一緒に行う。  
・バイトは週に3~4回。  
・サークルは毎日活動がある時期もある。

石井くんの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土	日
1限		予習	予習	アジア文化			
2限	ゼミ			職業選択論			
3限		国際法	人材育成論	心理学			
4限		教育入門	文化の伝承	教育社会学	バイト	サークル	
昼休み	サークル						
5限		教育実習事前指導	児美川ゼミ				
6限							
20:00		課題	課題	バイト			
00:00							

・日曜日は課題orバイト or 試合など、いろいろ調整する日

石井 啓介 4年

1、2年は主に野球サークル中心の生活を送りました。高校時代よりも自由な時間があり、仲間も多くできて充実していました。そして勉強したいこと、やりたいことも決まってきた3年では、勉強にも力を入れようと思い、少人数授業や教職の授業を履修しました。予習必須、ディスカッションではガンガン語り合い、必死でついていく授業でしたが、先生や周りの仲間から刺激を受けて、勉強面も充実したと思います。



教育社会学の授業にて 右から2番目

## 新入生のための基礎科目群

キャリアデザイン学部に入学者は、市ヶ谷キャンパスの各学部共通の一般教養科目（市ヶ谷基礎科目）を履修するとともに、1年次から学部独自の専門的な科目（基幹科目）を学び始めます。

### Step 1

#### 市ヶ谷基礎科目

人文・社会・自然科学に関するさまざまな科目を幅広く履修することにより、大学生にふさわしい、豊かな教養や思考力を身につけます。

#### 基礎ゼミ

少人数のゼミ形式の授業において、大学での学びにおける基本的なスキルを習得します。

P.7

### Step 2

#### キャリアデザインの基盤となる「基幹科目」

※主な科目を紹介します

#### キャリアデザイン学入門

キャリアとは何か、キャリアデザインとは何かを、「発達・教育」「ビジネス」「ライフ」という3つの視点から考え、本学部における学びの概要を理解します。この授業を通じて、自らの人生を主体的に設計し、かつ他者の人生設計を支援する専門家に向けての土台を作ります。

#### キャリア研究調査法

大学生のキャリア意識や就職活動のプロセス、男女のワークライフバランスなど、人の生き方や学び方、働き方などをめぐる調査や研究に必要な手法を学びます。少人数クラスで、質的調査（観察やインタビュー）と量的調査（アンケートやデータ分析）の基本的スキルを習得します。

発達・教育キャリア領域

入門A～D

発達障害・モンスターペアレント・生涯学習・キャリア教育・カウンセリングetc 教育と発達をめぐる基礎的な知識を学ぶと同時に、教育問題を議論するために必要な視点を獲得します。学校教育と生涯学習、2つの領域から、今日の社会における教育の諸問題を体系的に学びます。

ビジネスキャリア領域

入門A～D

Aミクロ経済学、Bマクロ経済学、C経営組織・経営情報、D経営戦略の4つのテーマで構成されています。経済のしくみや企業内外のさまざまな現象について広く知識を得ます。例えるなら、ビジネス分野の学習に船出する前に、海図を渡して航海ルートを説明するための科目です。

ライフキャリア領域

入門A～D

身近な家族や地域社会からグローバルな国際社会までを視野に入れ、現代社会における人々の多様な生き方を理解します。現代家族論、コミュニティ論、文化創造論、まちづくり文化論の4つのテーマのもとで、さまざまなコミュニティにおけるキャリア形成のあり方を探ります。

#### 資格の取得や語学のレベルアップを目指すためのサポート体制も充実！

▶キャリアデザイン学部では、教職をはじめさまざまな資格を取得することができます。これらの資格には、多くの単位取得が必要ですが、学部の教員やキャリアアドバイザーと相談しながら、1年次より計画的に資格の勉強を始めることができます。

P.14

▶「国際コミュニケーション語学」（英語・中国語）やTOEIC対策用の授業など、外国語のレベルアップを図ったり、SA（スタディ・アブロード）の準備に向けての語学科目が多数用意されています。また、全学で展開されているERP（English Reinforcement Program 英語強化プログラム）に参加する道も開けています。

P.13

## 2年次以降の専門科目

2～4年次にかけては、3つの領域のいずれかを軸にして、専門的な学びを深めていきます。2年次の後半からは少人数による演習（ゼミ）も始まり、実社会と関わりながらさまざまな研究活動を行います。

P.10  
P.11

### 主な科目を紹介します

発達・教育キャリア領域

#### 発達と学習

【生涯発達心理学】  
人間は生（誕生）から死に至るまでどのように発達し変化するのか、それぞれの人間の発達段階に沿った発達課題とその発達特性を心理学的な視点より研究します。

#### 学校教育と地域学習

【生涯学習Ⅰ・Ⅱ】  
「生きる力」「仕事の力」としての「コアコンピテンス」形成と「基礎学力」「受験勉強」との関係を理解し、リテラシーに関わる法律や政策、制度の課題と解決方法を考えます。

#### 教育と社会

【教育社会学】  
日本社会の教育・福祉・労働における歪み・軋みにどう向き合うか、数量データや文献を検討します。毎週たっぷりの予習必須、授業は激しいディスカッション。終えたときには確かな知識が身につきます。



私のおすすめ授業：「キャリアカウンセリング」  
他者のキャリア相談にのるための知識やスキルを学べるだけでなく、自分のキャリア形成への気付きも得られる授業です。（3年：岡部直樹）

ビジネスキャリア領域

#### 個人・人間

【リーダーシップ論】  
社会で求められるリーダーシップとは何かを学びます。様々なタイプのリーダーを知り、理論と実際を照らし合わせながら理解を深めます。リーダーシップを発揮するための基礎をつくりま。

#### 集団・組織

【経営組織Ⅰ・Ⅱ】  
私たちは組織のなかで働き自らのキャリアを形成していきます。働く動機づけや集団行動、組織のしくみなどの理論を学び、将来ヒトや組織を動かして成果を出せるような思考力を身につけます。

#### 産業社会

【シティズンシップ論】  
私たちが生活する場である地域コミュニティでの人の生き方を考えます。地域活性化に奮闘する人々の事例をとりあげます。個々の研究発表などを通じ、私たち自身の社会での働き方、生き方について考え直すきっかけを提供します。



私のおすすめ授業：「マーケティング論」  
マーケティングの基礎を学べ、生産側の視点が理解できます。企業や製品の例を出しつつ説明してくれるので、とても分かりやすく楽しい授業です。（2年：下山裕之）

ライフキャリア領域

#### 自己・他者・関係

【アイデンティティ論】  
自分とは何か、という問いをめぐって、ディスカッションをしたり、ロールモデルとなる人へのインタビューを行い、自らが主体となって人生を設計していく視点を得ます。

#### 文化マネジメント

【文化経営論】  
現代社会において文化が果たす役割について考えます。行政や企業、NPOなどによる文化支援が、地域活性化や産業振興とどのように関わっているのかを探ります。

#### 多文化・グローバル社会

【国際関係論Ⅰ・Ⅱ】  
大きく変貌していく国際社会について学びます。政治や経済のしくみ、そしてそれに関わる人々の生活や仕事のあり方を探り、グローバルな視野を養います。



私のおすすめ授業：「家族論」  
この授業では、様々な家族のあり方や問題に触れ、自分の家族を客観的に捉えることで、今の家族、これからの家族を考えるきっかけになりました。（4年：川田啓斗）

高校生に公開中!

学部HPよりお申し込みください



# ゼミの4つの特徴

- 1 職業研究からまちづくりまで多彩なテーマで必ず自分に合うゼミが見つかります
- 2 5~10名の少人数制で卒業論文まできめ細やかな指導が受けられます
- 3 29のゼミが開講され2年生秋学期より全員が学べます
- 4 学校でのボランティア、企業とのコラボレーション、アートでまちづくりなど社会とのつながりが密接です

## ゼミの一部を紹介します

### 発達・教育キャリア領域

#### 尾木ゼミ

尾木ゼミでは1人1人が主役となり個人で学びたいことを深めると同時に、共同調査研究にも取り組みます。教育者としてだけでなく、学生目線でも教育問題を考える教員の指導のもと、幅広い視点を持った人間になり、困難を乗り越えながら仲間と共同調査する面白さも味わうことを目指します。



日々のゼミ風景

#### 坂本ゼミ

坂本ゼミは、映像制作を通じた国際交流による学習の支援がテーマです。メディアを活用しながら、都内の小学校とカンボジアの小学校の国際交流支援や、3年次でのカンボジア研修でメコン大学の学生との交流を行います。



カンボジアの小学校にて

#### 遠藤ゼミ

遠藤ゼミは、現場の教育実践に出ていき、人の成長や変化、感情の機微などを考えるゼミです。学校や施設などで学ぶと同時に、人の心を読み解く文献を共同で学びます。年に2回の合宿では、困難な家庭状況の子どもたちへのボランティア活動をしています。



ボランティア先の学校で流しそうめん

### 学生研究発表会

年度末(2月)には学生研究発表会が開かれます。4年生の卒業論文をはじめとした、各ゼミの研究の成果を発表し、相互に検討し合います。自分たちのゼミの枠だけにとらわれず、より広くに納得してもらえよう説明をつくすなかで、ゼミを越えた学部としての学びがあります。卒業生や保護者の方々にもご参加いただいています。



### ビジネスキャリア領域

#### 酒井ゼミ

酒井ゼミはマーケティングが専門です。学外の企業や自治体と連携して商品やサービスをマーケティングしたり、自分たちのアイデアをプロジェクトにしたりと実践的に学んでいます。「教室のなかで考えるよりもまずは街に出てやってみる」がゼミの信条です。



中小企業総合展にて

#### 梅崎ゼミ

梅崎ゼミでは、地元の新宿区・神楽坂を対象に地域研究に取り組んでいます。私たちの研究手法は、オーラル・ヒストリー(口述の歴史)です。仕事や人生の「語り」を集め、人々のキャリアデザインと地域のつながりを議論しています。



神楽坂調査

#### 武石ゼミ

ゼミのテーマは、「これからの働き方を考える」。社会構造の変動を受け個人の職業キャリアのあり方がどのように変わっていくのか、その現状について正しく理解するために、企業や働く人へのインタビュー等フィールド調査を重視しています。



社会人とのセミナーにて

### ライフキャリア領域

#### 荒川ゼミ

荒川ゼミでは、文化やアートを「創造的なコミュニケーションの触媒」ととらえ、まちづくりや地域活性化、コミュニティ形成などに活かしていく方法を探っています。毎年、東京都立川市をはじめ、国内のさまざまな地域でフィールド調査を行ったり、アートプロジェクトを実践しています。



金沢21世紀美術館見学

#### 佐藤(恵)ゼミ

「社会学への招待：『常識を疑え!』」がテーマです。社会学は社会・文化を研究する学問ですが、その際、常識を疑い相対化する実践を重視します。そうした実践は、自分のものの見方・考え方の幅を広げ、新たな気づき・学びを得ていく取り組みで、どのようなキャリアを築いていくにしても、必要不可欠となるものです。



合宿にて

#### 金山ゼミ

金山ゼミではフィールドワーク調査や合宿、NPO活動を通して、地域の文化や人びとに触れ、キャリアデザイン力をつけることをめざします。これまでに、長野県布施町の文化のまちづくり調査、滋賀県長浜市・彦根市まちづくり調査、千代田区のミュージアムの連携と調などを実施しています。



伝統文化にふれる

— 体験活動からの主体的学び

# 体験型の4つの特徴

- 1 企業と密接な連携** 単なる見学ではなく商品の共同開発など密接な連携をとります。
- 2 充実した事前指導** 学びの目的や方法を事前に丁寧に指導します。不安を取り除き有意義な活動にします。
- 3 丁寧な事後指導** 体験型授業は事後のふりかえりが一番肝心。単なるインターンではなく学びを蓄積していくシステムがあります。
- 4 多様な現場：ビジネス・教育・国際** グローバル企業や高校、海外支援のNPOなど多様な現場を体験することができます。

## キャリアサポート実習

キャリアサポート実習は、高校に行ってキャリア教育プログラムを実施します。学生は高校生の意見を引き出したり、話し合いを円滑にするようにファシリテーターとして高校生に関わります。このような関わりができるようになるために、事前指導では傾聴やファシリテーションを学びます。



高校生にわかりやすく説明する練習

## メディア・リテラシー実習

映画監督を現場に招くなどして、メディア・リテラシーの基礎概念を学びながら、映像制作の基本的な技法を習得します。授業では、ニュース映像を作成し、You Tubeを通じて社会に発信します。



番組制作のインタビュー

## 地域学習支援

住民が自主的に地域づくりの学びを深めるのに必要な支援、コーディネート役割などを学び、多文化教育、地域文化振興、コミュニティとメディア等に関する実践的な現場で実習をおこないます。2013年は被災地を訪れて、農業活動の支援をおこなったりしました。



被災地での農業活動支援

履習学生より

### 丁寧な事前指導

3年生 杉原 寿仁王

(インターン先：公益事業プロスポーツ)

キャリア体験学習（ビジネス）では、単にインターンシップをおこなうだけでなく、働くことについて、事前に様々なグループワークを通して考えられます。この丁寧な事前指導のおかげで、インターンシップから多くのことを得られました。大学生生活の早いうちから、働くことについて考える機会を得られたことで、これからの行動の質も上がっていくと思います。

履習学生より

### 地域支援のあり方を考える

2年生 高橋 果琳

東日本大震災の被災地・福島県に行き、現地の方々にインタビューを行いました。お話を伺った人たちは皆、苦しい状況の中でも前向きに、力強く生活していたのがとても印象的でした。この授業を通じて、「コミュニティ・メディア」をはじめ、「若者支援」「異文化理解」など、様々な視点から地域支援の在り方を考えることができました。

## キャリア体験実習（ビジネス）

企業と共同で行うプロジェクト型の体験学習です。数名のグループで、商品開発やイベントの企画実施など、企業から提示されたテーマに沿って、課題抽出、情報収集、企画作成、提案、実施までの一連を行います。チームづくりやビジネスパートナーとの関わり方、スケジュール管理等、働くことにおいて必要なさまざまなスキルを、実体験を通じて体得することができます。



企業の担当者と商品企画について打ち合わせ



ベトナムでのボランティア活動見学

## キャリア体験実習（国際）

アジア経済、世界経済で重要な役割を担う中国・北京やベトナム・ホーチミンに2週間滞在し、日系企業の現場を体験したり、現地大学生と交流したりします。現地の言葉は知らなくても、コミュニケーションを取れることを実感。帰国後には成果報告書を作成します。

## Study Abroad

海外の提携大学に留学し、約15週間の英語講座を受講できます。集中的に英語を学び、英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後のキャリア形成の礎となる実践的英語スキルの取得を目指します。留学先はアデレード（オーストラリア）、オークランド（ニュージーランド）で、このプログラムに参加すると16単位が認定されます。



### STUDENT COLUMN

#### SA体験談

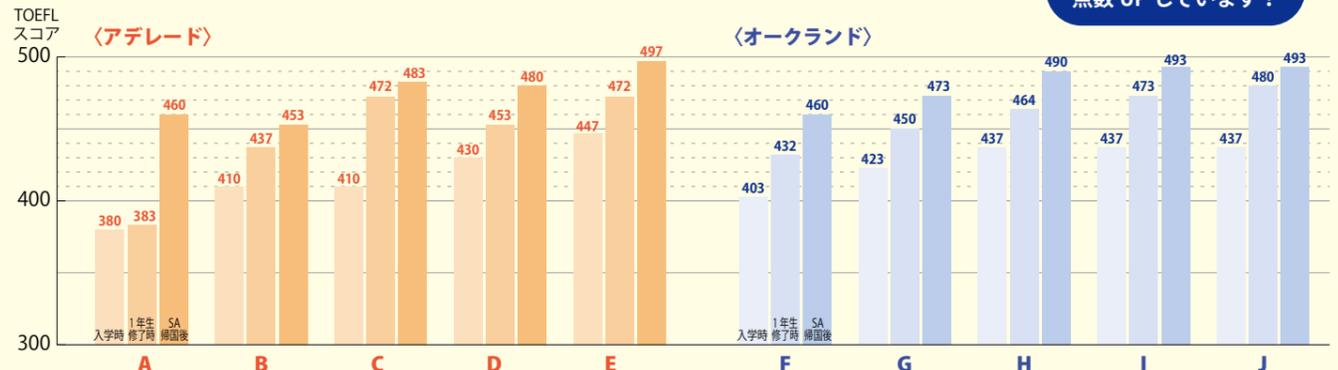
3年生 興野 咲子

ニュージーランドの15週間、語学学校では、日本人として自国の文化を知っておかなければと強く感じました。現地の人との交流できる会話サークルに通い、たくさんの友人ができました。また、ホームステイで知らない人と違う国で暮らすことは、最初はうまくいかないこともあったけど、今ではかけがえのない大切な私のもう一つの家族となりました。この留学を通して、語学の向上はもちろん、日本にいただけではできなかったおどろきの経験をたくさんしました。他の国の文化を肌で感じ、視野を広げることはこんなに大事なことのだと気づきました。



### 2013年度 SA参加者（学生A~J、10人）TOEFL®スコア

SA終了後は全員確実に点数UPしています！



## 資格取得

本学部ではキャリア形成をより豊かにするための資格取得を奨励しています。

### 教員免許

所定の単位科目を修了することで、以下の免許が得られます。

- 中学校（一種） 社会科
- 高等学校（一種） 地理歴史科・公民科・商業科

教職課程に必要な科目のうち、一定単位数を学部の卒業に必要な科目として認定し、学生が教員免許を取得しやすいようになっています（その他の資格科目も同様です）。2012年度に開設した教職課程センター（センター長：尾木直樹）で、教育実習を含めた細やかな指導が受けられます。また、法政大学の教育学専攻の専任教員は本学部にも所属しており、教員志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。

### 博物館学芸員

所定の科目を修了することで、社会教育施設である博物館（歴史博物館、美術館、文学館等）の専門職員である「博物館学芸員」の資格が取得できます。博物館学関係の専任教員は本学部にも所属しており、学芸員志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。



### 図書館司書・司書教諭

所定の単位科目を修了することで、図書館業務の専門職である「図書館司書」、および学校図書館の専門的職務を担う「司書教諭」（ただし教員免許の取得が必須）の資格が取得できます。これらの資格を統括する専任教員は本学部にも所属しており、司書志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。

### 地域学習支援士

「学びを通じて人を支援する」ことを目的とし、地域づくり学習、ユースワーク、地域文化創造、コミュニティ・メディア等の分野における学習支援のマネジメントやコーディネーターの専門性を習得します。所定の科目を修了することにより、学部から「地域学習支援士」資格取得の認定証が交付され、履歴書等に明記できます。

### その他の取得可能な資格

社会教育主事  
日本語教師  
会計プロフェッション  
（公認会計士など）  
etc

## 5方向からの進路支援

— より豊かなキャリア形成のために学年に応じたサポートを多面的におこないます。

### 1 充実した アドバイザー陣

● 神戸 綾 (3年)  
キャリアデザイン学部は、教職を履修しやすいカリキュラムが構成されています。私は教員への道も考えていたので、学部の科目と教職の科目をバランスよくとるために相談に行っていました。1年次は履修の組み方がよくわかりません。しかし、アドバイザーの元へ行くことで、4年間の履修計画が明確になりました。

### 2 教員による 進路支援

● 木村ゼミ 本間 瞬 (2014年卒業、亀有信用金庫)  
本学部では、働くことを、実践的に、かつアカデミックに学べます。私は木村ゼミで、財務情報から企業の本質に迫る力を学びました。これを通じ、この力を最も活かすことのできる金融機関を中心に、就職活動を行うことができました。就職後もさらに力を磨いていきたいです。

### 3 大学の キャリアセンター

全学部の学生をサポートするキャリアセンターでは、就職活動の流れなどの説明会はもちろん、求人募集の案内、エントリーシートの書き方や面接指導、インターシップの支援や成果発表会、学内企業選考、OB・OGによる企業紹介、内定者による就職活動報告会など、きめ細やかにキャリア支援を行っております。特に1、2年生の低学年から長期的なキャリア支援を行い、学生生活と就職の体系的な支援に力を注いでいます。

## 5方向からの 進路支援

### 4 キャリアアップ 奨励金制度

本学部では資格取得に向けチャレンジする学生に「キャリアアップ奨励金」制度を設けています。本学部の趣旨に合致する講座の受講料や資格試験の受験を補助します。毎年、ファイナンシャルプランニング技能試験、日商簿記研展、秘書技能試験など、40~50名の学生がこの奨励金を活用して資格取得に取り組んでいます。

### 5 学生同士 主体的に互いの進路を 支援しあう

● 八代 雄太 (4年)  
就活に迷っていた3年次、4年生に誘われて、面接や集団討論の練習に参加してもらいました。そこから、友人たちに声をかけあうようになって、お互いに面接したり、集団討論の練習を積み重ねています。集団討論は、月に1回ぐらい、ゼミの先生に講評もいただきます。

## 取得した資格を活かして

### 教員 免許

**私立高校の教員に！**  
久保田 志ほり 2014年卒業  
(私立本庄東高等学校 教諭)

「人の心に寄り添う教員になる」これが、教育と心理を中心に学ぶ中で見出した私の抱負です。大学のボランティアセンターを通じて参加した東日本大震災の復興支援が、教員志望の気持ちをより強くしました。講義だけでなく多様なサポートのおかげで多くの貴重な経験ができ、志を支えられました。辛い歴史の上にも、未来の希望があることを、社会科の教員として教壇から発信していきたいです。



### 教員 免許

**神奈川県の中教員に！**  
柳沢 優太 2014年卒業  
(茅ヶ崎市立浜須賀中学校 教諭)

教育学専門の先生が多いキャリアデザイン学部では、1年次から「教育とは何か」「教師はどうあるべきか」を考える機会がたくさんあります。また、同じく教職を目指す先輩や仲間から多くのアドバイスを受けられ、安心して4年次の教育実習に臨めました。教職科目の多くは卒業所要単位に含まれるので、無理なく履修できました。教育学に興味がある学生にはとても良い環境です。



### 図書館 司書

**地元で図書館司書に！**  
小守 美和 2011年卒業  
(千葉県立中央図書館 司書)

資格の授業は、専門的な知識獲得はもちろん、実践的な授業が多く確実に今の仕事に役立っています。グループワークも多く、他学部の学生と意見交換できる良い機会でした。司書資格の教員は本学部にも所属していて、就職の相談もしやすく心強かったです。自分の専門を生かして地元の千葉県で働けたらと思います。今の職場を選びました。希望の仕事に就くことができ、毎日がとても充実しています。



### 1 年次

アドバイザーによる履修相談会、「キャリアモデル・ケーススタディ」等の授業を通じて自己のキャリア形成を考えます。

### 2 年次

ゼミが始まり、それぞれの研究テーマを探求する中で、ディスカッションやプレゼンテーションの能力を高めます。またキャリア体験学習等で、社会に出る体験を積み重ねます。教職等の資格を取得する準備も進めます。

### 3・4 年次

就職活動や各種試験に向けて、自己分析、エントリーシートの書き方講習・個人面談対策などをキャリアアドバイザーが支援します。企業の採用担当者と学生との交流会が開かれます。学生同士の自主勉強会では、相互に支え合う中でスキルアップをめざします。学生主体ですが、教員が指導に入ることもあります。ゼミでは、大学での学びを今後の働き方に結びつける研究を教員が支えます。

## 躍進する卒業生

今年度卒業する皆さんに学部での学びを聞きました。

### キャリア体験学習で商品開発

**佐藤 綾音** (日本年金機構)

ゼミでは「人材育成とキャリア形成」をテーマにグループ研究や卒業論文を執筆し、「キャリア体験学習」では1年がかりで商品開発を行いました。座学だけでなく、実践も通じて人生の糧になる経験ができたと思います。就職活動では、公共性と専門性の高さを軸に進路を決めました。今後は学んだことを活かし社会に貢献していきたいです。



### 実践的でアクティブな学び

**永井 康平** (茨城県庁)

学部での学びは、非常にアクティブです。グループディスカッション、現地調査、プレゼンテーション等や、民間企業や地方自治体へのインターンシップに行くという授業もあります。私自身、そうした本学部での学びから得られる能力、経験が、就職試験で役立つことを実感するとともに、それらは就職後にも必要とされ、活きるものであると考えています。



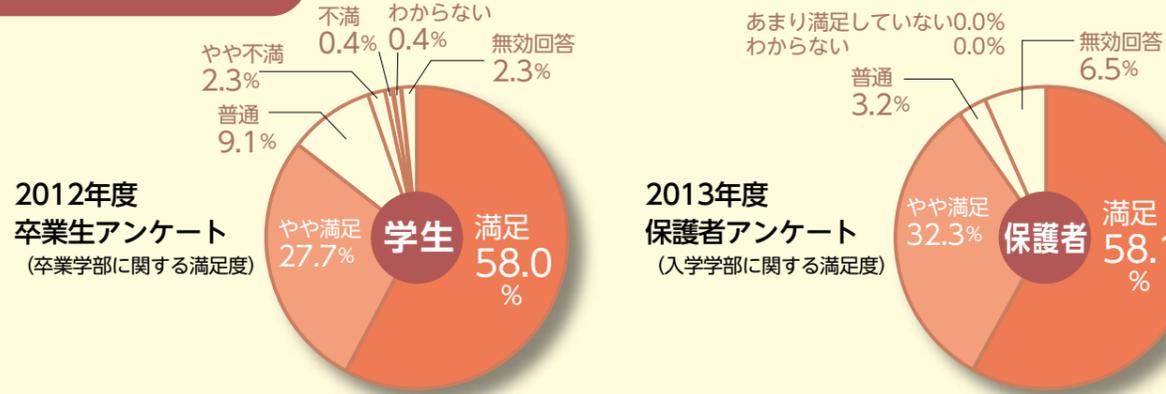
### 幅広い専門領域と少人数ゼミ

**酒井 静香** (全日空)

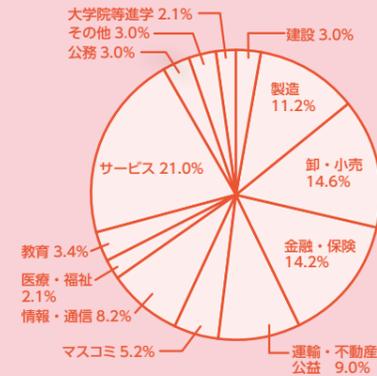
私にとってキャリアデザイン学部は可能性への一歩であり、道を発見する場でした。幅広い専門領域と少人数のゼミで私は自己を発見し、体験型学習では失敗を恐れず挑戦したことが、就活に役立ちました。入学当初英語も話せなかった私が卒業後は世界を舞台に働く事ができるのは、この四年間の成果！一人ひとりの可能性は無尽大、活かせるかは自分次第だと実感しています。



### 学部満足度調査



### 2013年度業種別就職先



2013年度就職希望者決定率 (2014.4月) **99.8%**

### 卒業後の進路一覧

本学には働きながら学べる大学院「キャリアデザイン学研究科(キャリア教育・発達プログラム)」「ビジネスキャリアプログラム」があります

- 【建設】前田建設工業(株)、飛鳥建設(株)、セキスイハイム東海(株)、日本電技(株) など
- 【製造】栗田工業(株)、日野自動車(株)、ユニ・チャーム(株)、YKK(株)、YKK AP(株)、(株)日本製粉、(株)伊藤園、大日本印刷(株) など
- 【卸・小売業】(株)丸井グループ、(株)ジェイアール東日本商事、マルエツ(株)、リコージャパン(株)、富士ゼロックス東京(株)、兼松(株) など
- 【金融・保険業】(株)三菱東京UFJ銀行、(株)三井住友銀行、(株)みずほ銀行、(株)埼玉りそな銀行、SMBC日興証券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、住友生命保険(相)、明治安田生命保険(相)、大和証券(株)、ソニー銀行(株) など
- 【運輸・不動産】全日本空輸(株)、東日本旅客鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、スカイネットアジア航空(株)、住友不動産販売(株)、(株)ダイワコーポレーション、東急リパブル(株)、(株)ヤマト運輸 など
- 【マスコミ】東海テレビ放送(株)、(株)マイナビ、(株)第一学習社 など
- 【情報通信・機器業】楽天(株)、ソフトバンク(株)、ソフトバンクモバイル(株)、京セラコミュニケーション(株) など
- 【教育サービス】(学)河合塾、(学)東京個別指導学院 など
- 【各種サービス・娯楽業】(株)エイチ・アイ・エス、パークハイアット東京、オリックス(株)、(株)オリエンタルランド、(監)あずさ、(株)東急リゾートサービス、(株)JTB首都圏、(株)カプコン など
- 【教員】私立前橋育英高校、私立本庄東高等学校、福島県高等学校、神奈川県中学校、栃木県小学校 など
- 【公務員】国税庁東京国税局、茨城県庁、北区役所、台東区役所、八千代市役所、宮古島市役所 など
- 【団体】全農、日本赤十字社、日本消防協会、JAセレス川崎、日本年金機構、(公)日本生産性本部 など
- 【大学院進学等】慶応義塾大学院、明星大学大学院、玉川大学 など

## 卒業後のキャリアデザイン

キャリアデザイン学部で学んだことを生かして、社会で活躍する卒業生のみなさんに、学部での学びと現在、未来のキャリアデザインについて聞きました。

### 高橋洋太

2007年卒業  
(株) gram30 (起業)

キャリアデザイン学部では“生きていくセンス”を身に浸み込ませる事ができました。とりわけ、ビジネスセンスをつけられた事は大きく、学生起業家選手権で優勝できたり、上場するベンチャーを見極め就職したり、起業した際に億単位の資金調達ができるなど、ビジネスに対する嗅覚が身についたのは学部の先生方の指導のお陰です。



### 伊藤優香

2010年卒業  
森ビル株式会社  
タウンマネジメント事業部



経営、教育、臨床心理、芸術。自分の未来を1つに絞り切れず、高校生だった私はキャリアデザイン学部を受験しました。興味関心の赴くまま学んだ大学生活。そして出会ったのが、まちづくりの仕事でした。決して1つの領域では語れないこの仕事の面白さに気付けたのは、多面的な視点で社会と向き合った4年間があったからだと思います。

### 横倉幹人

2011年卒業  
経済産業省商務情報政策局  
文化情報関連産業課 係長  
(マンガ・アニメ担当)

入省後、政府の成長戦略や、コンテンツ産業の国際展開戦略策定など、様々な業務を経験し、日々日本経済に向き合っています。その上で、必要なことはあらゆる観点から物事を考え、「問題の本質は何か」見極めるところにあります。キャリアデザイン学部で、その「考え方」を学べたことが今の業務にはもちろん、今後の人生においても大きな資産になっていると思います。



### 安田 幸江

(旧姓 高梨)  
2007年卒業  
武田薬品工業(株)



「結婚・出産後も働いていたい」在学中に女性の多様な働き方について学び、現在は社内のファミリーケアという制度を活用し、時間短縮勤務でMRをしています。朝の得意先訪問や夜の内勤業務など、出産前は当たり前だったことが出来なくなりましたが、以前より時間管理の意識が高まり、オンオフの切り替えが上手くなりました。

### 元尾優

2007年卒業  
ZACMO(ザックモ)  
代表取締役CEO

多くの学部が限定的な分野の授業を基本としていますが、キャリアデザイン学部は多角的な授業構成であったために、自分のキャリア形成を考える上で非常に視野が広がりました。私は文系には珍しいITに関する授業をきっかけにIT企業に就職し、現在はベトナムを主戦場としたIT企業を立ち上げ、アジアビジネスを展開しております。



### 大西未希

2011年卒業  
東京大学大学院  
学際情報学府 博士課程



社会に繋がる知を、総合的に学びたい。この学部を選んだのは、そんな思いからでした。知識をつけるだけでなく「知をつくりだす力」を得られる環境。ここで、学びと共にある生き方に楽しさを感じるようになりました。現在は大学院にて研究活動を行いながら大学講師をつとめ、学生たちと新しい「知」を日々考えています。

# 多彩な教授陣が皆さんの学びをサポートします

キャリアデザイン学部の専任教員と、おのおのが開講しているゼミのテーマを紹介します。  
「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の3領域において、  
各ゼミ1学年10名程度から成る少人数制で、多彩かつ活発な学びを展開しています。

## 発達・教育キャリア領域

**遠藤 野ゆり 准教授** Noyuri Endo  
**教育実践学 児童福祉**  
 自分の「あたりまえ」は他人の「へん」。そんな自分/他者が関わり合い変わっていく教育現場で今起きていることを、感受性豊かに見つめなおす。

**尾木 直樹 教授** Naoki Ogi  
**教職課程センター長 臨床教育学**  
 現代の子どもと教育の深層を探る。教育現象を素材に、国際的視野で教育のあり方を考える。

**児美川 孝一郎 教授** Koichiro Komikawa  
**青年期教育 キャリア教育**  
 教育という位相から、若年層のキャリア形成の諸問題について考える。

**坂本 旬 教授** Jun Sakamoto  
**情報教育論 図書館情報学**  
 インターネットを活用した異文化探究学習を実践し、国際文化交流コーディネーターとしての能力を身につける。

**笹川 孝一 教授** Koichi Sasagawa  
**生涯学習論 リテラシー論**  
 さまざまな人のキャリアを時代と世界の中でとらえ、自分自身のキャリアを考える。

**佐藤 一子 教授** Katsuko Sato  
**生涯学習論 NPO 論**  
 大人が学び、子どもが育つ地域の関係の再生とソーシャルサポートの構築という視点から、生涯学習・社会教育の実践的な展開を探る。

**佐貫 浩 教授** Hiroshi Sanuki  
**教育政策論 教育課程論**  
 戦後の日本社会の構造的変化をたどり、若者らをめぐる学校や家族、教育のゆくえを考える。

**高野 良一 教授** Ryoichi Takano  
**教育行政論 学校イノベーション**  
 学校づくりと、それを支援する教育行政機関やNPO、企業などの現場に触れ、教育の抱える諸問題を探る。

**田澤 実 准教授** Minoru Tazawa  
**生涯発達心理学 教育心理学**  
 移行期をキーワードに、人間の生涯にわたる発達を、それぞれの場面での支援もあわせて考える。

**筒井 美紀 准教授** Miki Tsutsui  
**教育社会学 労働社会学**  
 教育・労働・政策にまたがる、あなたがやりたいテーマをとことんつき詰める。

**宮城 まり子 教授** Mariko Miyagi  
**臨床心理学 キャリアカウンセリング 生涯発達心理学**  
 キャリア開発支援とキャリアカウンセリング。子どもから中高年に至る生涯にわたるキャリア支援について研究する。

## ビジネスキャリア領域

**上西 充子 教授** Mitsuko Uenishi  
**労働問題 職業能力開発**  
 若者が学校を出て職業へと入っていく、その移行の過程の諸問題と初期の職業キャリアについて考える。

**梅崎 修 准教授** Osamu Umezaki  
**労働経済学 キャリア管理論 オーラルヒストリー**  
 組織を支える人々がどのように働いてきたのか、それぞれの「仕事の自分史」を掘り起こす。

**木村 琢磨 准教授** Takuma Kimura  
**経営戦略論 組織行動論**  
 企業経営の観点から、会社の業績を向上させるための経営戦略と人材マネジメントについて考える。

**小門 裕幸 教授** Hiroyuki Kokado  
**地域経営論 ベンチャー経営論**  
 ベンチャー企業を研究することによってグローバル化が進む日本経済を学び、あわせて事業構想力を養う。

**酒井 理 准教授** Osamu Sakai  
**マーケティング**  
 マーケティングという活動から、社会、企業、個人における価値とは何かを考える。考えるだけではなく、実際に行動する力を養う。

**佐藤 厚 教授** Atsushi Sato  
**産業社会学 人的資源管理論**  
 組織とヒトのニーズのマッチングを人的資源管理とキャリア形成のあり方に注目しながら考える。

**武石 恵美子 教授** Emiko Takeishi  
**人的資源管理論 女性労働論**  
 社会の変化や政策を視野に入れ、仕事と生活のバランスを重視したキャリアデザインのあり方を考える。

**中野 貴之 教授** Takayuki Nakano  
**会計学**  
 会計情報を適切に利用・分析できる能力を身につけ、経済的現象を的確に把握できるようになることを目指す。

**八幡 成美 教授** Shigemi Yahata  
**職業能力開発 人事労務管理**  
 実際のフィールドワークを中心に労働市場の調査を行い、職業キャリアを実証的に研究する。

## ライフキャリア領域

**荒川 裕子 教授** Yuko Arakawa  
**西洋美術史 アートマネジメント論**  
 アートの持つ豊かな創造性を学ぶとともに、文化やアートを活用した地球づくりなど、社会とアートの有機的な関わりを実践的に探求する。

**岩谷 道夫 教授** Michio Iwaya  
**英語学 言語学 韓国学**  
 韓国の歴史とさまざまな文化を掘り下げることによって、日本との歴史的な関係を見出し、日本を捉え直す。

**金山 喜昭 教授** Yoshiaki Kanayama  
**博物館学 考古学**  
 キャリアデザインによるまちづくり活動に参加し、歴史・文化と人々の暮らしと学びの関係を考える。

**斎藤 嘉孝 准教授** Yoshitaka Saito  
**家族社会学 社会調査**  
 家族・子ども・結婚・親子等を鍵に、自らのキャリア、他者支援や職業生活、社会問題や国際比較等々を考える。

**佐藤 恵 准教授** Kei Sato  
**地域社会学 社会調査**  
 「社会学への招待：『常識を疑え!』」というテーマのもとで、自分のものの見方・考え方の幅を広げる実践を行う。

**田中 研之輔 准教授** Kennosuke Tanaka  
**都市社会学 若年滞留層論 社会調査法**  
 現代の都市の諸問題を社会的に読み解く。特に、空間的隔離や社会的排除の「構造-主体」関係を経験的に分析する。

**趙 宏偉 教授** Zhao Hongwei  
**国際関係学 日中関係**  
 現代中国と東アジアの政治・経済・文明を、人々の行動と相互の関係に注目して研究する。

**山田 泉 教授** Izumi Yamada  
**日本語教育 多文化教育**  
 グローバル化が進む世界の現状を見据え、日本社会のマイノリティ問題を考え、多文化共生社会の実現の道を探る。